

F☆☆☆☆ 水性一液アクリル樹脂系床用塗料

水性床コート アクリル

低臭・安全性
防塵性
作業性

❖ 用途 ❖

一般工場床
倉庫床
事務所床
駐車場
アスファルト遊歩道
など

※防滑仕様可能

大日本塗料株式会社

標準色 ※受注品

ロイヤルグリーン
(45-50Hと45-30Lの間あたり)

ビバグリーン
(39-40L 近似)

ブラウン
(07-30L 近似)

キャメルベージュ
(19-70F 近似)

アイスグレー
(N-70 近似)

※本色見本はイメージです。
また、() 内日塗工近似表記は、
あくまでイメージのための参考値
です。実際の仕上がり色・つやと
は異なりますので、施工の際は、
予め塗装見本などで必ずご確認
下さい。

※調色可能

塗料性状

項 目		内 容		
容姿		一液性		
荷姿		15kg、4kg		
色相		標準色 5 色、各色		
光沢		つや有り		
密度 (23℃)	塗 料	1.12±0.05(白)		
	揮発分	1.00		
加熱残分		—		
乾燥時間	温 度	5℃	20℃	30℃
	指 触	1時間	20分	15分
	半硬化	4時間	1時間	45分
標準膜厚		—		
引火点		SDS参照		
発火点		SDS参照		
爆発限界 (下限～上限)		SDS参照		

関連法規

危険物表示	—	有害物表示	SDS参照
有機溶剤区分	—	劇物表示	—

標準塗装仕様【コンクリート・モルタル床】

工 程		商品名	塗り回数 (回)	色 相	塗装方法	希釈率 (%) (重量比)	標準使用量 (kg/㎡/回)	塗装間隔 (20℃)
素地調整		1.ごみ、油分などの付着物、エフロレッセンスなどをスケーラー、ワイヤーブラシ、サンドペーパーなどで除去する。 2.平滑（凸面は削って平滑にする）にしたのち清拭する。 3.コンクリート打設 4 週間以上経過した下地で、含水率10%以下・pH10以下を条件とする。						乾燥後
不陸調整		面のくぼみ、クラック、目違いなどの部分はその程度によりパテ材や不陸調整材などで埋めて平らにする。						乾燥後
平滑仕様	上塗り	水性床コートアクリル	2	各色	刷毛・ローラー	水道水 5～10	0.15～0.18	2時間以上 7日以内
防滑仕様	上塗り 一層目	水性床コートアクリル	1	各色	刷毛・ローラー	水道水 5～10	0.15～0.18	直後
	骨材散布	上塗り一層目が乾燥しないうちに、リシンガン・ふるいなどを用いて、珪砂をムラなく均一に散布する。 (珪砂の粒径は6～7号が好ましく、散布量は0.06～0.30kg/㎡) 塗膜の乾燥硬化後、余剰骨材は回収する。						4時間以上
	上塗り 二層目	水性床コートアクリル	1	各色	刷毛・ローラー	水道水 5～10	0.15～0.18	—

※ 下地が脆弱又は新設の場合は、下塗りとして「マイティーエポキシシーラークリヤー」をご使用下さい。
※ 歩行可能時間は、上塗り二層目塗装後、16時間以上経過してからです。
※ 標準使用量は、被塗物の形状や塗装方法・環境によって増減することがあります。

施工上の注意

- 塗料は使用前に十分に攪拌し、均一な状態にしてから塗装して下さい。
- 希釈は必ず指定された希釈剤を使用し、薄めすぎは隠ぺい不足、仕上り不良となりますので注意して下さい。
- 塗装後、最低2時間位の間は雨や水がかからないようにして下さい。
- 弾性塗料(主にウレタン)の上に塗装すると、塗膜が割れることがありますので避けて下さい。
- 塗装場所の気温が5℃以下、湿度が85%以上で結露のおそれがある場所、又換気の悪い場所では塗装しないで下さい。
- 下地に旧塗膜がある場合は、予め密着性を確認してから施工して下さい。
- 1回塗りで厚塗りしますと硬化不良の原因になりますので、必ず規定の塗分量で塗装して下さい。
- 塗装中及び養生中は床面の通風をよくして下さい。

【防滑仕様】骨材の散布量は、多いと埃がたまって汚れやすいので、施工場所の状況によって調整して下さい。

塗装基準

項目		内容			
下地処理		素材表面の油分、汚れ、埃などを除去し乾燥した清浄な面とする。 pH10以下、含水率10%以下			
調合法		—			
熟成時間		—			
可使時間		—			
塗装方法		刷毛・ローラー			
希釈剤		水道水			
塗装法	塗装方法	刷毛・ローラー			
	希釈率	5～10%			
	標準使用量	0.15kg/m ² /回			
	標準膜厚	—			
		ウェット管理膜厚			
乾燥時間	温度	5℃	20℃	30℃	
	最小	6時間	2時間	1.5時間	
	最大	7日	7日	7日	

※塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。
※標準使用量は実測値に基づき算出しています。
また被塗物の形状などにより標準使用量は変動します。

使用上の注意

- 取扱いには下記の注意事項を守って下さい。
※詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご参照下さい。
- 取扱い上の注意
- 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。
 - よくフタをし、一定の場所に貯蔵して下さい。
 - 子供の手の届かないところに保管して下さい。
 - 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
 - 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。
- 緊急時の処置
- 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
 - 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
 - 容器からこぼれた時には、砂等を散布したのち処理して下さい。 ①

※本チラシ値は、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。
※本製品の内容は予告なく変更することがあります。 ※本チラシに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。

DNT 大日本塗料株式会社

大阪営業所 ☎ 06-6266-3116 ☎ 542-0081 大阪市中央区南船場1-18-11 (SRビル長堀)
東京営業所 ☎ 03-5710-4501 ☎ 144-0052 東京都大田区蒲田5-13-23 (TOKYU REIT 蒲田ビル)
札幌営業所 ☎ 011-822-1661 ☎ 003-0012 札幌市白石区中央二条1-5-1
仙台営業所 ☎ 022-288-8866 ☎ 984-0011 宮城県仙台市若林区六丁の目西町8-1 (齋喜センタービル)
名古屋営業所 ☎ 052-332-1701 ☎ 460-0022 名古屋市中区金山1-12-14 (金山総合ビル)
広島営業所 ☎ 082-286-2811 ☎ 732-0802 広島市南区大州3-4-1
福岡営業所 ☎ 092-938-8222 ☎ 811-2317 福岡県糟屋郡粕屋町長者原東3-10-5

塗料相談室 フリーコール 0120-98-1716 <https://www.dnt.co.jp/>